

# ① 都筑五山を巡り桜を楽しむコース

2018/3/15 訂正

催行日：3月28日（水） 集合：中川駅改札口より地上に出た所

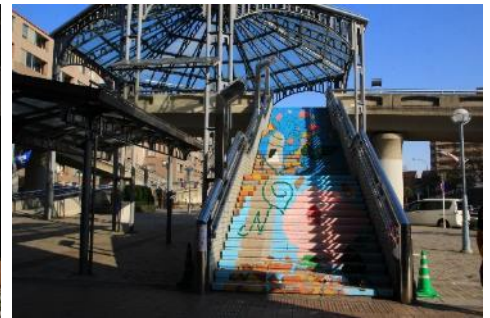
行程：中川駅→山崎公園⇒やさきの道⇒八幡山公園⇒矢先橋⇒ささぶねの道⇒都筑中央公園（ばじょう谷戸で休憩）⇒境田貝塚⇒茅ヶ崎杉山神社⇒円形広場⇒（センター南駅を潜る）⇒茅ヶ崎城址公園⇒大塚歳勝土遺跡⇒センター北駅にて解散

\* C班の方は円形広場からセンター南駅経由「みなきたウォーク」を通り→歴史博物館経由→（大塚歳勝土遺跡）→センター北駅で解散

この中川は住民で組織するNPOの活動により花と緑あふれる街へと変身しています。平成24年2月、「町興し事業」が環境省の主催するコンテストに入賞し百万円相当の花の



中川のセンター花壇



中川駅前広場の階段（集合場所）

苗を頂き、みんなで花壇に植えています。駅前の交番脇と正面の階段には中川西中学の美術部の生徒が階段アートを完成させました。遊歩道に合計32か所の花壇があり四季を彩っています。また広場にはベンチや舞台も常設され、憩いの空間を演出しています。ネオロマネスク風にデザインされた駅前から出発です。タクシー乗り場を右に見て直進して草笛の道に入ります。遊歩道に入ってすぐに右手のトンネルをくぐって山崎公園に入ります。花に囲まれた広場を見ながら奥にあるプールの右手から桜のトンネルを抜けると左手に桜に囲まれた東屋が見えてきます。この時期にはお弁当を持った人々がブルーシートをひいて桜を楽しんでいます。左にゆるやかな坂を下ります。そして右に下る坂が柿の木坂です。秋には禅寺丸柿がたわわに実をつけます。枝垂れ桜のある可愛い池と休憩小屋のあるところを山に沿って左折します。池の所に道案内があります。ここからやさきの道が早淵川まで続きます。この道を直進し住宅街を抜け突き当たりが八幡山公園の入り口となります。



草笛の道入り口

この小屋を直進して進めば早淵川に出ます。左折してしばらく進めば水神様が祀られています。昔、洪水を防ぐための大柵の堰があったところです。



山崎公園の池と桜の運動広場



注) 赤点線は階段を避けるルート(C班)





八幡山公園は早淵川沿いの半島が突き出たような小高い丘の上にあります。ここでは縄文初期～中期の弥生時代などの遺跡が昭和 52 年に発見されましたが、発掘せずに未来の人々への遺産として保存してあります。頂上には大きな石のモニュメントと都筑では一番古いといわれている桜があります。広場を一回りしたらもと来た道に戻り左折しやさきの道を通って矢先橋に出、渡って左に入すぐに右折して、ここからささぶねの道に入ります。

この道をまっすぐ進めば茅ヶ崎公園でセキレイの道につながり、鴨池公園でゆうばえの道に



ジョイントする長い遊歩道です。ここはちょうど都筑中央公園の裏手になります。

直進して蛭見橋を左折、ここから中央公園に入ります。橋を渡って少し上るとばじょう谷戸への入口です。休憩小屋でトイレ休憩です。小さな田んぼや炭焼き小屋もありボランティアの方々が定期的に炭を作り、稲作もしています。手前のばじょう池は小鳥たちの楽園になっています。休憩所の裏手の竹林を登り清水

谷戸に下り、境田貝塚に上るコースもありますが、今回は炭焼き小屋のほうへ回り、ステージ広場に出ます。ここにも立派なトイレがあります。更に左手に進むと境田貝塚遺跡に出ます。その先を下ると茅ヶ崎杉山神社の横手に出ます。階段は下らずに林の中を宮谷戸の大池に下ります。その脇のレストハウスには色々な資料や展示がありますので、寄ってみてください。



ばじょう池の休憩所



ばじょう池の紅梅



小鳥の集まる谷戸の池



境田貝塚跡の広場



茅ヶ崎杉山神社



中央公園の雑木林

そのまま歩道橋を渡るとセンター南駅の南口に入りますが、Cクラスの方はここでショートカット！みなきたウォークをセンター北に向かってください。途中「吾妻山公園」を下か



から見上げて、歴史博物館より「大塚歳勝土遺跡公園」に入ります。長澤家の民家園と弥生時代中期の集落を楽しんでください。A・Bクラスは駅を潜って直進し「茅ヶ崎城址公園」に入ります。室町時代の地形をうまく利用して造られた、小田原の北条氏の出城と推定されています。空堀や土塁が残っています。北廓にはトイレや休憩所、案内板などが整備されています。時を忘れさせるような静かな自然な空間が私たちを癒してくれます。



茅ヶ崎城址跡 北廓より西廓へ向かう道 土塁に囲まれて東廓へ

中郭の広場

城址を出て北に向かうと早淵川の向こうに大塚歳勝土の山が正面に見えます。茅ヶ崎橋からは下流に勝田橋が見えます。突き当たって左に坂を上ると公園の広場の奥に出ます。上り口に河津さくらが数本あり、私達を出迎えてくれます。上りきった正面に民家園があります。ひな祭りの時期にはお雛様が沢山飾られています。古民家については資料をお読みください。大塚遺跡と歳勝土遺跡では、その成り立ちを勉強しましょう。詳しくは資料をお読みください。茅ヶ崎中央公園の境田貝塚の海進時期の解説も興味を引く内容になっています。(歴史博物館は65才以上無料です、活用しましょう)



早淵川と勝田橋



路傍で見つけた庚申塔



大塚遺跡南面に咲く河津桜



約 200 年前の江戸中期に古い形式で造られた民家（旧長澤家）です。

3月には京雛が飾られています。



大塚遺跡の縮尺模型



歳勝土遺跡の墓墳群



園内の竹林



大塚遺跡の冬・夏・秋の顔



歴史博物館展望台からの吾妻山



堰の元地蔵（子育て地蔵）

### \* 港北ニュータウンメモ

- 1965年 横浜市六大事業の一つとして発表
- 1983年 大規模集合住宅で入居を開始
- 1986年 企業の誘致計画追加
- 1993年 市営地下鉄ブルーライン延伸
- 1994年 港北ニュータウンを中心とする  
地域を都筑区として分区
- 2008年 グリーンライン開業



みなきたウォークの道（正面はセンター北駅）